

令和7年度 小金井市立小金井第一小学校 学校経営方針

令和7年4月1日

校長 増田 亮

＜学校経営方針を策定するための前提となる諸事項＞

校舎改築にかかわる子供たちの安全の確保と円滑な教育活動の両立「主体的・対話的で深い学び」の充実「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的推進
教科の特質に応じた一人一台端末等ICT機器とアプリケーションの有効活用 コミュニティスクール5年次 春の運動会と秋の展覧会の開催

5年海の移動教室(大房岬自然の家)と6年林間学校(清里山荘)での豊かな自然体験・宿泊体験の実施 ハチドリプロジェクト 開校152周年

【概要】在籍児童数:808名 学級数:25学級(1年:5学級 2年~6年:4学級 特別支援学級「梅の実学級」:4学級) 特別支援教室「くじらぐも教室」巡回校

【教職員】校長 副校長2名 教員57名 エディケーション・アシスタント(AD)2名 スクールカウンセラー(SC)2名 事務主事3名 用務主事2名

栄養士2名 特別支援教育支援員・学校図書館司書・特別支援教室専門員・ALT各1名 管理員(早朝・施設)計4名

国:日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学校保健安全法 いじめ防止対策推進法 子ども基本法等の教育関連法、学習指導要領等
都:教育目標 東京都教育ビジョン第5次等

＜学校教育目標 めざす子供像＞

○今年度の重点目標

いつも仲良く助け合う子

○進んで考え、くふうする子

心も体もたくましい子

小金井市教育委員会
教育目標 教育方針 スローガン
第3次明日の小金井教育プラン
小金井市DX推進全体方針
小金井市気候非常事態宣言等

＜めざす学校像＞

子供たちが主体的に学び、明るく元気な学校

全教職員が子供たちのために力を合わせる学校

＜めざす教職員像＞

互いの授業や職務を通して学び合い高め合う教職員

子供との「認め、励まし、支援する」かわりができる教職員

＜学校教育目標を達成するための主な3つの取組＞

1 人権尊重の精神を基に、豊かな心を育む教育の推進

- 人権教育及び心の教育の充実
- 「子供の声を聴く」ことを柱とする子供の権利の尊重
- 読書活動の充実と言語環境の整備
- 特別支援教育の一層の推進
- 考え、議論する「特別の教科 道徳」の授業を要とした道徳教育の一層の充実
- いじめや不登校の未然防止及び早期発見、早期対応

2 良さを伸ばし、確かな学力を育む教育の推進

- 子供が主体的に考え、話し合い、表現する授業の継続
- 各教科等の授業における問題解決的な学習の一層の充実と校内研究「子供と共につくる授業の創造」の推進
- 習熟度別少人数算数授業、家庭学習、アフタースクールの実施による基礎・基本の確かな定着
- ICT機器を効果的に活用したデジタル社会を生きる力と直接対話を通じたコミュニケーション力の育成

3 心と体の健康づくりに向けた教育の推進

- 近隣の中学校と連携した体育授業の実施
- 全校体制での「あいさつ運動」の継続によるあいさつへの意識向上
- 「ハッピーフレンドタイム(HFT)」での全学年・梅の実学級たてわり班による異学年交流の実施
- 家庭や地域と連携した食育・健康安全教育の推進、基本的な生活習慣の定着

＜特色ある教育活動＞

1 子供が主体的に考え 話し合い 表現する授業の継続

- 教員の主体的な授業変革の推進
- 令和5年度全国小学校社会科研究協議会東京大会の会場校研究発表の成果を生かした校内研究「子供と共につくる授業の創造」の活性化 ○校内OJTの充実

2 家庭や地域と連携・協力した、協働的な教育活動の推進

- コミュニティ・スクール5年次としての学校づくり
- 地域学校協働活動と地域未来塾の充実
- 「保護者グループ」との連携・協働
- 開校150周年の時につくった資料室の展示・公開

3 特別支援教育の充実

- 3名の特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的・計画的な特別支援教育の推進
- 通常の学級と梅の実学級との交流及び共同学習の充実
- 通常の学級とくじらぐも教室との連携 ○副籍交流

＜取組の継承と発展＞

○各教科等の授業におけるICT機器を効果的に活用した主体的な学習の展開 ○学年体制での指導・助言・相談と管理職への報告・連絡・相談の徹底 ○地球市民の一員としてできることに取り組む「ハチドリプロジェクト」等の推進 ○SOSの出し方教育やいのちの安全教育の実施 ○わかまち小金井への理解を深め、ふるさと意識を醸成する学習活動の展開 ○教員の働き方改革の推進